

# エコアクション21 環境活動レポート

---

2012年度版

作成年月日:2013年08月10日

エア・ウォーター物流株式会社

エキスパート事業部

## 【1】組織の概要(平成25年4月1日現在)

会社名称 エア・ウォーター物流株式会社  
代表者名 代表取締役社長 川田 博一  
本店 〒060-0003  
北海道札幌市中央区北3条西1丁目2番地  
本社〒062-0052  
所在地 北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号  
TEL:011-859-5300 FAX\*:011-859-5313

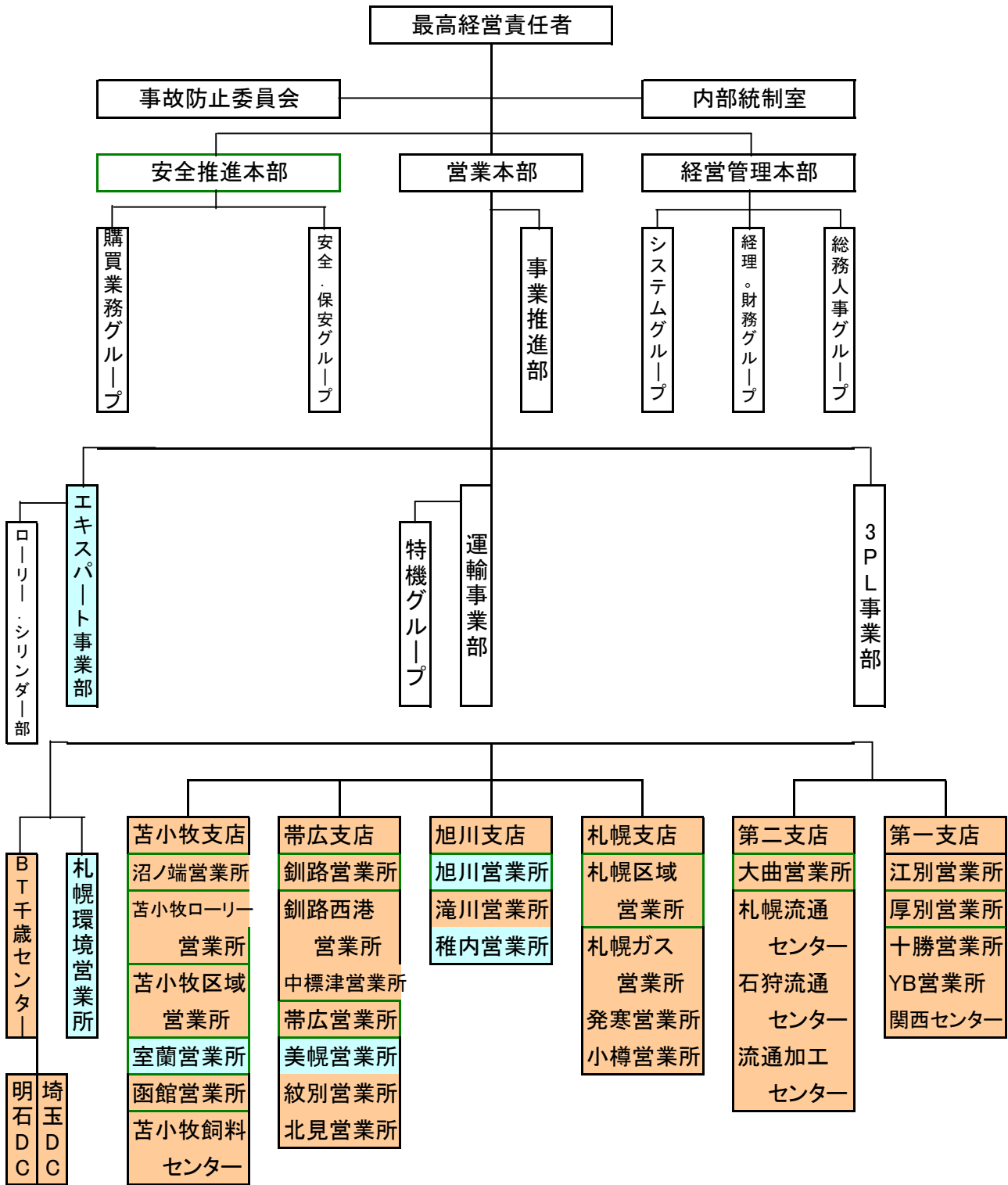
設立 昭和37年5月12日  
資本金 1億7,750万円  
売上高 447億5,000万円(平成24年度)

事業年度 自:4月1日 至:3月31日  
従業員数 1,613名(平成25年3月末現在)

事業内容 1)貨物自動車運送業  
2)自動車運送取扱業  
3)自動車分解整備事業  
4)倉庫業  
5)物流システムコンサルティング  
6)低・定温輸送システムによる血漿・医薬品輸送システム  
7)流通加工サービス業  
8)引越に関する業務全般  
9)押入産業保管事業  
10)産業廃棄物の収集・処理事業  
11)各種機械設置工事の請負

拠点数 6支店 33拠点

□エア・ウォーター物流株式会社 主要組織図(全組織への拡大プログラム)



- グリーン認証部署
- 認証・登録済み拠点
- H26年3月認証・登録予定拠点
- H27年3月認証登録予定

□ 営業拠点一覧

事業所名	郵便本号	住 所
■ 本社	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号
経営管理本部	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号
安全推進本部	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号
■ 営業本部	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号
事業推進部	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号
3PL事業部	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号
運輸事業部	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号
エキスパート事業部	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号
監査室	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号
内部統制室	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号
■ 第一支店		
江別営業所	061-1274	北海道江別市工業町19番地8
白石営業所	003-0030	北海道札幌市白石区流通センター5丁目5番53号
YB営業所	061-3241	北海道石狩市新港西2丁目779番地
関西センター	063-0835	北海道札幌市西区発寒15条13丁目2番30号
十勝営業所	046-2671	北海道小樽市オタモナイ1丁目4番16号
■ 第二支店	003-0030	北海道札幌市白石区流通センター5丁目5番53号
大曲営業所	061-1274	北海道北広島市大曲工業団地7丁目2番地2
札幌流通センター	003-0030	北海道札幌市白石区米里1条3丁目5番1号
石狩流通センター	061-3241	北海道石狩市新港西2丁目779番地
流通加工センター	003-0030	北海道札幌市白石区米里1条3丁目5番1号
■ 札幌支店	061-3241	北海道石狩市新港西2丁目779番地
札幌区域営業所	061-3241	北海道石狩市新港西2丁目779番地
札幌ガス営業所	061-1274	北海道北広島市大曲工業団地7丁目2番地2
発寒営業所	063-0835	北海道札幌市西区発寒15条13丁目2番30号
小樽営業所	046-2671	北海道小樽市オタモナイ1丁目4番16号
■ 旭川支店	078-8253	北海道旭川市東旭川北3条6丁目4番10号
旭川営業所	078-8253	北海道旭川市東旭川北3条6丁目4番10号
滝川営業所	073-0001	北海道滝川市北滝の川1344番地32
稚内営業所	098-6642	北海道稚内市声問4丁目18番22号
■ 帯広支店	082-0005	北海道河西郡芽室町東芽室基線5番地7
釧路営業所	088-0606	北海道釧路郡釧路町中央5丁目3番地
釧路西港営業所		北海道釧路市西港1丁目36番56号
中標津営業所	086-1144	北海道中標津郡中標津町東当幌17番地8
帯広営業所	082-0005	北海道河西郡芽室町東芽室基線5番地7
美幌営業所	092-0001	北海道網走郡美幌町字高野104番地27
紋別営業所	099-5171	北海道紋別市渚滑町7丁目10番地1
北見営業所	099-0878	北海道北見市東相内町224番地4
■ 苫小牧支店	053-0055	北海道苫小牧市新明町1丁目4番15号
沼の端営業所	059-1364	北海道苫小牧市沼ノ端2番地77
苫小牧ローリー営業所	053-0055	北海道苫小牧市新明町1丁目4番15号
苫小牧区域営業所	053-0055	北海道苫小牧市新明町1丁目4番15号
室蘭営業所	050-0063	北海道室蘭市港北町1丁目25番地35
函館営業所	041-0822	北海道函館市亀田港町63番地4号
苫小牧飼料センター	053-0002	北海道苫小牧市晴海町43番地46
(エキスパート事業部)		
札幌環境営業所	067-0061	北海道江別市工業町25番地11
BT千歳センター	066-0051	北海道千歳市泉沢1007番地58
埼玉DC	343-0044	埼玉県越谷市大泊127番地
明石DC	674-0092	兵庫県明石市二見町東二見267番地

□許可一覧(産業廃棄物、特別管理産業廃棄物 収集運搬)

許可一覧(産業廃棄物、特別管理産業廃棄物)			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
許可の種類	許可年月日	許可番号	許可対象産業廃棄物の種類										
	許可の期限		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃7㍗り	廃7㍗	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	
北海道	産廃	平成22年01月28日 平成27年01月17日	第00110005201号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃7㍗り	廃7㍗	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ
	特管	平成20年07月31日 平成25年06月30日	第00160005201号	ゴムくず	金属くず	がら陶磁器	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	ばいじん			
旭川市	産廃	平成21年12月27日 平成26年12月26日	第05010005201号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃7㍗り	廃7㍗	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ
	特管	平成20年09月10日 平成25年08月02日	第05060005201号	廃油	廃酸	廃7㍗り	感染性	PCB	特定廃石綿	特定鉱さい	特定ばいじん	特定燃え殻	特定廃油
青森県	産廃	平成20年09月09日 平成25年08月11日	第00201005201号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃7㍗り	廃7㍗	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ
	特管	平成24年06月07日 平成29年06月06日	第00251005201号	ゴムくず	金属くず	がら陶磁器	鉱さい	がれき類		ばいじん			
岩手県	産廃	平成20年08月19日 平成25年08月18日	第00300005201号	廃油	廃酸	廃7㍗り	感染性		特定廃石綿	特定鉱さい	特定ばいじん	特定燃え殻	特定廃油
	特管			特定汚泥	特定廃酸	特定廃7㍗り							
秋田県	産廃	平成22年05月29日 平成27年05月29日	第05040005201号						廃7㍗				
	特管	平成22年05月29日 平成27年05月29日	第05540005201号		金属くず	がら陶磁器							
山形県	産廃	平成20年11月06日 平成25年08月24日	第06090005201号						廃7㍗				
	特管				金属くず	がら陶磁器							
宮城県	産廃	平成24年04月23日 平成27年01月31日	第04000005201号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃7㍗り	廃7㍗	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ
	特管	平成24年04月23日 平成27年01月31日	第04500005201号	ゴムくず	金属くず	がら陶磁器	鉱さい	がれき類		ばいじん			
福島県	産廃	平成20年10月26日 平成25年10月25日	00707005201	廃油	廃酸	廃7㍗り	感染性		特定廃石綿	特定鉱さい	特定ばいじん	特定燃え殻	特定廃油
	特管	平成20年10月26日 平成25年10月25日	00757005201	特定汚泥	特定廃酸	特定廃7㍗り							
栃木県	産廃	平成22年10月23日 平成27年10月22日	00900005201						廃7㍗				
	特管	平成22年10月23日 平成27年10月22日	00950005201		金属くず	がら陶磁器							
茨城県	産廃	平成23年06月08日 平成28年06月07日	00801005201						廃7㍗				
	特管	平成23年06月08日 平成28年06月07日	00851005201		金属くず	がら陶磁器							
千葉県	産廃	平成23年09月01日 平成28年08月31日	01200005201						廃7㍗				
	特管	平成23年09月01日 平成28年08月31日	01250005201		金属くず	がら陶磁器							
東京都	産廃	平成20年12月04日 平成25年12月03日	1300005201		汚泥				廃7㍗				
	特管				金属くず	がら陶磁器							
埼玉県	産廃	平成21年03月31日 平成26年02月28日	01107005201		汚泥		廃酸		廃7㍗				
	特管	平成21年03月31日 平成26年02月28日	01157005201		金属くず	がら陶磁器							
神奈川県	産廃	2008/7/22 平成25年06月03日	01402005201		汚泥				廃7㍗				
	特管	平成21年01月05日 平成25年12月13日	01452005201		金属くず	がら陶磁器							
京都市	産廃	2008/10/10 平成25年10月09日	06500005201	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃7㍗り	廃7㍗	紙くず	木くず	繊維くず	
	特管	平成20年10月10日 平成25年10月09日	06550005201	ゴムくず	金属くず	がら陶磁器	鉱さい	がれき類		ばいじん			
奈良県	産廃	2009/11/11 平成26年11月10日	02900005201	廃油	廃酸	廃7㍗り			特定廃石綿	特定鉱さい	特定ばいじん	特定燃え殻	特定廃油
	特管	平成21年11月11日 平成26年11月10日	02905005201	特定汚泥	特定廃酸	特定廃7㍗り							
大阪市	産廃	2009/12/8 平成26年12月07日	6600005201	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃7㍗り	廃7㍗	紙くず	木くず	繊維くず	
	特管	平成21年12月08日 平成26年12月07日	6650005201	ゴムくず	金属くず	がら陶磁器	鉱さい	がれき類		ばいじん			

## 【I-1】認証・登録の対象

エキスパート事業部(旧医療・環境事業部)

所在地 〒062-0052北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号

TEL:011-859-5301 FAX:011-859-5311

代表者 常務取締役 高築 健二

環境管理責任者及び担当者連絡先

エキスパート事業部次長 遣田 尚

TEL:011-859-5301 FAX:011-859-5311

E-mail:yarita-his@awi.co.jp

対象事業所

1)札幌環境営業所

〒067-0051北海道江別市工業町5番地11

TEL:011-382-1550 FAX:011-382-6118

2)旭川営業所

〒087-8253北海道旭川市東旭川北3条6丁目4番10号

TEL:0166-36-3323 FAX:0166-36-2960

3)稚内営業所

〒098-6642北海道稚内市声間4丁目18番22号

TEL:0162-26-2711 FAX:0162-26-2395

4)美幌営業所

〒092-0001北海道網走郡美幌町字高野104番地27

TEL:0152-73-4233 FAX:0152-72-4244

5)室蘭営業所

〒050-0063北海道室蘭市港北町1丁目25番地35

TEL:0143-55-7121 FAX:0143-55-2542

## I-2事業内容

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物(主に感染性廃棄物・各種バッテリー・OA機器・  
廃農薬等)の収集運搬及び家電リサイクル引取場所業務(Bグループ)

## I-3廃棄物の処理料金について

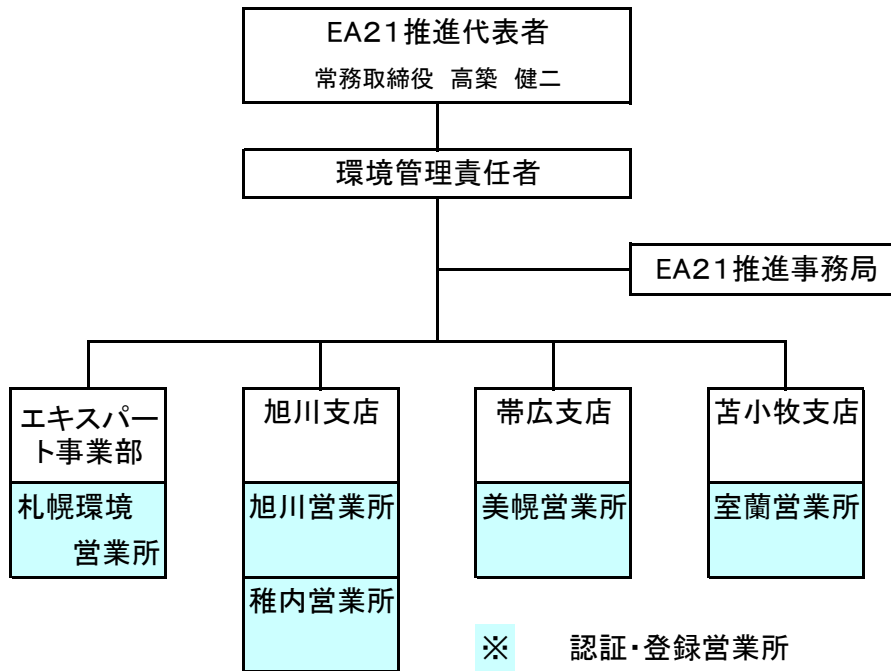
収集運搬料金については、随時お見積もりを致します。

□ 事業規模

活動規模	単位	H22年度	H23年度	H24年度
■ 処理量	t			
札幌環境営業所		5,592	6,274	4,406
旭川営業所			1,521	7,183
稚内営業所(家電取扱)	台		9,755	4,478
美幌営業所(家電取扱)	台		40,219	10,540
室蘭営業所(家電取扱)	台		23,601	10,605
■ 売上高	百万円			
札幌環境営業所		555	577	221
旭川営業所			855	452
稚内営業所			237	147
美幌営業所			365	525
室蘭営業所			117	98
■ 従業員数	人			
札幌環境営業所		14	14	13
旭川営業所			20	20
稚内営業所			9	9
美幌営業所			12	12
室蘭営業所			10	10
■ 床面積	m <sup>2</sup>			
札幌環境営業所		2,113	2,209.2	2,209.2
旭川営業所			610.0	610.0
稚内営業所			169.8	169.8
美幌営業所			353.7	353.7
室蘭営業所			322.6.	322.6.
■ 運搬車両台数	台			
札幌環境営業所		11	11	10
旭川営業所			19	19
稚内営業所			7	7
美幌営業所			9	9
室蘭営業所			8	8
■ 営業車両台数	台			
札幌環境営業所		4	4	4
旭川営業所			1	1
稚内営業所			1	1
美幌営業所			1	1
室蘭営業所			1	1

※H22年度は、札幌環境営業所のみ記載

□EA21推進組織図(H25年4月1日現在)



□積替え保管施設及び処理実績

1 積替え保管施設

事業所名	所在地	区域	許可の種類		保管面積㎡
			産廃	特管	
札幌環境営業所	北海道江別市工業町25番地11	北海道	産廃	プ・金・ガ・油・酸・ア・泥	80.00
			特管	酸・泥・ア・油・感	276.80
旭川営業所	北海道旭川市東旭川北3条6丁目4番1	旭川	産廃	燃・泥・酸・ア・プ・金・ガ・油	97.98
			特管	酸・泥・油・ア・感	48.18
稚内営業所	北海道稚内市声問4丁目18番22号	北海道	産廃	プ・金・ガ・酸・ア	4.00
			特管	酸・ア・感・泥	20.00
美幌営業所	北海道網走郡美幌町字高野104番地2	北海道	産廃	プ・金・ガ・酸・ア	4.00
			特管	酸・ア・感・泥	19.00
釧路営業所	北海道釧路郡釧路町中央5丁目3番地	北海道	産廃	プ・金・ガ	3.00
			特管	酸・ア・感・泥・油	21.00
帯広営業所	北海道河西郡芽室町東芽室基線5番1	北海道	産廃	プ・金・ガ・油・酸・ア・泥・燃・石	24.00
			特管	酸・ア・感・泥	19.00
苫小牧営業所	北海道苫小牧市あけぼの町1丁目5番	北海道	産廃		
			特管	酸・ア	134.00
室蘭営業所	北海道室蘭市港北町1丁目25番35号	北海道	産廃		
			特管	酸・ア	10.00



## 2 処理実績(H23年度)

産業廃棄物	種類	重量(t)	特別管理 産業廃棄物	種類	重量(t)
	燃え殻	390.1		引火性廃油	225.8
汚泥	350.6	引火性廃油(有害)	36		
廃油	83.5	強酸	15.8		
廃酸	16.5	強酸(有害)	362.8		
廃アルカリ	111.2	強アルカリ	9		
廃プラスチック類	1,183.70	強アルカリ(有害)	39		
木くず	1,167.00	廃油(有害)	63		
動物性残渣	15.6	汚泥(有害)	199.7		
ゴムくず	1	廃酸(有害)	14.3		
金属くず	294.6	廃アルカリ(有害)	16.7		
ガラス陶磁器くず	102.7	感染性廃棄物	2,869.00		
がれき	198.3	PCB等	34		
合計	3,910.30	合計	3,885.10		

## 3 処理実績(H24年度)

産業廃棄物	種類	重量(t)	特別管理 産業廃棄物	種類	重量(t)
	燃え殻	466.36		引火性廃油	143.6
汚泥	574.46	引火性廃油(有害)	116.37		
廃油	100.5	強酸	44.1		
廃酸	15	強酸(有害)	282.2		
廃アルカリ	444	強アルカリ	5.2		
廃プラスチック類	1,138.00	強アルカリ(有害)	31.8		
木くず	4,832.01	廃油(有害)	9.9		
動物性残渣	83.1	汚泥(有害)	37.7		
金属くず	346.1	廃酸(有害)	12.09		
ガラス陶磁器くず	100.8	廃アルカリ(有害)	26.8		
がれき	340.7	感染性廃棄物	2,113.40		
鋳さい	3.56	PCB等	511.88		
合計	8,457.59	合計	2,798.90		

## 【2】環境方針

### 基本理念

空気と水、この大いなる自然を預かるものとして、産業や暮らしに一番いい形で製品を作ることと同時に、自然に一番いいものづくりを考えたい。役立つために空気も水も、人々に役立ったあとは、そっと自然に戻ってもらう、清浄な根源の姿への回復。これが私たちの未来への責任だと深く考えます。自然界の摂理や生命の循環サイクルに立脚した企業へ、私達は地球資源循環カンパニーを目指します。

### 環境方針

弊社は、北海道内を中心に37の事業所を有し、シャーシ輸送・高圧ガス輸送・特殊輸送の運輸事業、血漿輸送・NAT検体輸送、産業廃棄物・リサイクルの医療・環境事業、物流センターとしての食品物流事業、流通センター・トランクルーム・引越の流通事業を営んでおり、これらの事業に伴って消費する電力及び化石燃料並びに水の使用に伴う排水による環境負荷が最大の要因と考え、環境マネジメントシステムに取り組んで、環境関連法規及び地域社会のルールを遵守し、全従業員が協力して次の事項を推進します。

#### 記

- 1 電力・化石燃料の使用量削減に努めます。
- 2 廃棄物排出量抑制・リサイクルを進め、排水量の抑制に努めます。
- 3 自動車排ガスによる環境汚染を防止する対策を計画的に推進します。
- 4 可能な範囲で自主基準を定め管理の向上に努めます。
- 5 従業員及び関係者に対して環境に関する知識の普及啓発に努めます。
- 6 環境活動レポートを定期的に作成・公表し環境コミュニケーションに取り組みます。

以上

平成18年4月1日 制定

平成24年4月1日 改訂

エア・ウォーター物流株式会社  
常務取締役

部長 高築 健二

### 【3】環境目標

#### 1 環境への負荷の状況

項目		単位	H23年度(基準年)	H24年度	
廃棄物の状況	二酸化炭素排出量	kg-co <sub>2</sub>	3,064,829.91	3,082,538.10	
	一廃	再生利用	t	13,233.60	99,004.70
		熱回収焼却	t	11,372.00	211.40
		最終処分量	t	1,050.00	547.50
	産廃	再生利用	t	31,358.00	20,171.00
		熱回収焼却	t	0.00	8,747.20
		最終処分量	t	83.00	1,148.00
	総排水量	m <sup>3</sup>	1585.00	1,411.00	
	水使用量	m <sup>3</sup>	1,681.00	1,411.00	
購入電力量	MJ	1,340,055.09	1,342,768.17		
化石燃料使用量	MJ	43,469,944.51	43,732,496.10		
収集運搬量	t	7,795.40	11,244.49		

#### 2 環境目標

基準値(H23年度)				中長期目標					
環境目標項目	数値	単位		H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	
削減	二酸化炭素排出量	3,064,829.91	kg-co <sub>2</sub>	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%	
	購入電力	136,323.00	kWh	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%	
	化石燃料	灯油	6,103.90	L	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%
		LPG	1,860.41	kg	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%
		ガソリン	12,695.00	L	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%
		軽油	1,118,149.00	L	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%
	事務用紙投入量	362,402	枚	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%	
	水資源投入量	1,681	m <sup>3</sup>	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%	
廃棄物排出量	57.10	t	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%		
増大	低燃費車両導入	9	台	毎年度の計画により導入					
	廃棄物再資源化量	44.59	t	+2%	+4%	+6%	+8%	+10%	
	環境負荷低減活動		件	顧客への環境負荷低減活動を都度実施する					
	グリーン購入促進		件	適宜実施					

## 【4】環境活動計画及び取組の内容

弊社は、11拠点でグリーン認証・登録を推進していますが、エコアクション21と合わせて取組んでまいります。

- 1 産業廃棄物収集運搬車両からの二酸化炭素排出量の削減(ガソリン、軽油)
  - 1)アイドリングは、冬期間の初期5分以内とする。その他駐車中は、アイドリングSTOPを励行する。
  - 2)急発進・急加速等アクセルむらのない安全運転を励行する。
  - 3)法定速度を守り、効率的な運転を励行する。
  - 4)車両点検により、タイヤ空気圧を正常に保つ等無駄な消費を防ぐ。
- 2 電力使用による二酸化炭素排出量の削減
  - 1)事務所作業場及びトイレは、適切な照度を保つと共に、使用していない時間帯は消灯する。
  - 2)パソコン、プリンター、コピー機及び作業機械類は、使用時のみ電源を入れる。
  - 3)OA機器及び蛍光灯は、交換時期には省エネタイプに取り替える。
  - 4)室内照明は、太陽光の取入れを考慮して可能な限り自然光を採用する。
- 3 灯油・LPG等化石燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
  - 1)冬期間の暖房は、温度計を設置して20℃～22℃を守る。(ウオームビズの推進)
  - 2)暖房機器の適切な整備・点検。
  - 3)工場等は、部屋を分けて可能な限りシャッターを閉じ、解放面を少なくする。
  - 4)暖房機器の更新時には、省エネ機器へ切替え導入する。
- 4 廃棄物の削減
  - 1)一廃の廃容器類は、資源ごみとして市役所のリサイクル事業に協力する。
  - 2)用紙類は、裏紙を使用して排出量の削減に取り組む。
  - 3)使用済み新聞、雑誌、段ボール等は、可能な限り分別・選別して資源化を図る。
- 5 紙類使用量の削減
  - 1)再生紙の使用促進及び古紙のリサイクル推進。
  - 2)両面印刷、両面コピーの徹底。
  - 3)電子メディア等の活用によるペーパーレス化の推進
- 6 水使用量の削減
  - 1)水使用時は、給水ハンドルを全開しない。
  - 2)要領よく洗車を実施して時間の短縮に努め、過剰な噴射をしないよう心がける。
  - 3)雨水を地下浸透させる工夫とともに、水道配管からの漏洩を点検する。
- 7 環境負荷低減活動
  - 1)受託した産業廃棄物の計測・搬入・保管の管理を適切に行う。
  - 2)搬入先の処理内容の定期的なチェックの実施。
  - 3)顧客に対して環境保全・改善の提案及び情報の提供を都度実施する。
  - 4)持ち出し先に対して、廃棄物の物性等の情報を提供する。
- 8 グリーン購入の推進
  - 1)作業服は、買い替え時にエコマーク品を購入する。
  - 2)文房具は、買い替え時にエコマーク品を購入する。(概ね達成しているので維持する。)
  - 3)事務用紙は、使用目的に応じて可能な限り再生紙を使用する。
  - 4)トイレトーパーは、再生品を購入する(概ね達成しているので維持する。)

## 【5】環境目標の実績

基準値(H23年年度)			H24年度				
環境目標項目	単位	基準値	実績値	増減(%)	環境効率H23/H24		
削減	二酸化炭素排出量	kg-co <sub>2</sub>	3,064,829.91	3,082,538.10	0.58%	14.653/13.755	
	購入電力	kWn	136,323.00	136,599.00	0.20%	0.652/0.610	
	化石燃料	灯油	L	6,103.90	9,944.80	62.93%	0.029/0.044
		LPG	kg	1,860.41	2,738.50	47.19%	0.009/0.012
		ガソリン	L	12,695.00	12,447.77	-1.95%	0.061/0.056
		軽油	L	1,118,149.00	1,120,402.00	0.20%	5.346/5.000
事務用紙投入量	枚	362,402	389,448	7.46%	1.733/1.738		
水資源投入量	m <sup>3</sup>	1681.00	1411.00	-16.06%	0.008/0.006		
廃棄物排出量	t	57.1	27.70	-51.41%	-		
増大	低燃費車両導入	台	9	毎年度計画的に導入する。			
	廃棄物再資源化量	t	44.59	119.18	267.30%	-	
	環境負荷低減活動	件	顧客への環境負荷低減活動を都度実施する				
	グリーン購入促進	件	適宜実施				

※ 1 二酸化炭素排出量の計算は、北海道電力H20年度実排出係数0.588kg-Co<sub>2</sub>/kWhを使用している。

2 環境効率:売上高(千円)対比(H24/H23)

3 旭川営業所、室蘭営業所の対象範囲が異なり、基準値を修正した。

## 【6】環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

### 1 取組結果とその評価

取組計画	評価(H24年4月～H25年3月)
二酸化炭素排出量の削減 1、産業廃棄物収集運搬車両(ガソリン、軽油) 目標:基準値比1%削減 活動計画:購入エネルギー量の削減  2、電力使用による排出量の削減 目標:基準値比1%削減  3、灯油・LPG等の使用による排出量削減 目標:基準値比1%削減	基準値に対して、約0.6%増加した。  1、ガソリンは約1.9%減少、軽油約は0.2%増加した。 軽油使用量を走行量対比では、H23(年間)比約2.6%改善されていますが、低燃費車両の導入の影響も考えている。 2、電気使用量は約0.2%増加した。  灯油使用量は約63%増加し、LPGも約47.2%増加した LPGへの燃料転換を進めているが、冬期間の厳しい低温が影響した。  売上対比でみると、灯油、LPGの他は減少している。 <b>■環境効率(売上対比)の比較は環境目標の実績欄に記載した。</b>
4、廃棄物の削減 目標:基準値比1%削減	4、廃棄物排出量は、現在のところ基準値の54%です。  年間の廃棄時期があり、現状では評価が困難ですが、再資源化に努めます。
5、紙類使用量の削減 目標:基準値比1%削減	5、事務用紙の投入量は、約7.5%増加している。 現在コピー機のカウンターで管理しており、裏紙使用も含まれており、正確な投入量ではありませんが削減に努めます。
6、水使用量の削減 目標:基準値比1%削減	6、水使用量の削減については、昨年比-16.1%の使用量です。  年間を通して削減に努めます。
7、低燃費車両の導入 目標:毎年度の計画により導入	7、低燃費車両導入は入替時、計画的に進めています。 H23年度は、年間9台でした、今年はこれまで7台導入しています。年度により台数は異なりますが、今後も計画的に導入を進めます。
8、廃棄物再資源化量の増大 目標:基準値比+2%増大	8、再資源化量は、現状昨年比約69%です。  年間を通じての廃棄時期が一定ではありませんが、再資源化に努めます。
9、環境負荷低減活動 目標:廃棄物排出の都度、顧客に対して環境負荷低減についてアドバイスを行う。	9、収集運搬の従業員教育を進め、顧客の排出物に対応した環境負荷低減活動を実施します。
10、グリーン購入の促進 目標:事務用品・トイレトペーパー等は、概ね達成しているのので、今後は作業服・事務用紙について取り組むこととする。  作業服・事務用紙は、再生資源を含むものを調達する。	10、事務用紙は可能な限り再生紙を購入する。 作業着については、更新時に再生資源使用品を調達する。  <b>■これらについては、本社からの支給につき、営業所においては活動目標にしていません。</b>

2、次年度の取組内容(平成25年度)

取組計画	主たる取組内容
<p>二酸化炭素排出量の削減</p> <p>1、産業廃棄物収集運搬車両(ガソリン、軽油)            目標:基準値比2%削減            活動計画:購入エネルギー量の削減</p> <p>2、電力使用による排出量の削減            目標:基準値比2%削減</p> <p>3、灯油・LPG等の使用による排出量削減            目標:基準値比2%削減</p>	<p>二酸化炭素排出量削減に務めます。</p> <p>1、ガソリン・軽油使用量削減に務め、低燃費車両の導入を計画的に進めます。</p> <p>2、LED等の高効率照明に更新し効率的運用を図ります。新規認証・登録予定の低温センターは、雪を利用した自然エネルギーの冷熱活用も進めています。</p> <p>3、冬期間の気象の影響を受けますが、LPGへの転換を進め効率的運用を図ります。(温度設定20℃の徹底)</p>
<p>4、廃棄物の削減            目標:基準値2%削減</p>	<p>4、廃棄物排出量は削減を図るとともに、熱回収、再生利用に努め、最終埋立量を削減します。</p>
<p>5、紙類使用量の削減            目標:基準値比2%削減</p>	<p>5、再生紙の使用促進、両面コピーを徹底します。また、ペーパーレスの推進を図ります。</p>
<p>6、水使用量の削減            目標:基準値比2%削減</p>	<p>6、水使用量については、年間を通して削減に務めます。</p>
<p>7、低燃費車両の導入            目標:毎年度の計画により導入</p>	<p>7、低燃費車両導入は入替え時、計画的に進めます。</p>
<p>8、廃棄物再資源化量の増大            目標:基準値比4%増大</p>	<p>8、再資源化率の増大に努めます。</p> <p>年間を通じての廃棄時期が一定ではありませんが、再資源化に努めます。</p>
<p>9、環境負荷低減活動            目標:廃棄物排出の都度、顧客に対して環境負荷低減についてアドバイスを行う。</p>	<p>9、収集運搬の従業員教育を進め、顧客の排出物に対応した環境負荷低減活動を実施します。</p>
<p>10、グリーン購入の促進            目標:事務用品・トイレトペーパー等は、概ね達成しているため、今後は作業服・事務用紙について取り組むこととする。</p> <p>作業服・事務用紙は、再生資源を含むものを調達する。</p>	<p>10、事務用紙は可能な限り再生紙を購入する。事務用品・作業着等は極力エコマーク品を調達します。</p> <p>■これらについては、本社からの支給につき、営業所においては活動目標にしていません。</p>

## 【7】環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### 1 適用となる主な環境関連法規等

主な適用法規	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	産廃排出・委託契約、収集運搬・処理基準・運搬車両・保管施設	遵守確認
水質汚濁防止法	特定施設の設置届、油漏れした場合の、公共水域への流出の	遵守確認
大気汚染防止法	車両排ガスの基準順守	遵守確認
省エネ法	エネルギー管理統括者等の選任・使用量の報告	遵守確認
下水道法	下水道の受け入れ基準	遵守確認
道路運送車両法	車両の排ガス・騒音の防止	遵守確認
高圧ガス保安法	緊急措置、移動、排気塔の規定遵守	遵守確認
消防法・条例	貯油施設等の届出	遵守確認
北海道循環型社会形成推進に関する条例	産廃の委託先の調査・記録	遵守確認

上記の通り、当社に適用される主な環境関連法規等について遵守状況を確認しました。

### 2 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

### 3 行政への報告など

環境省・国土交通省等からの各指導・報告等については適正に行いました。



## 【8】代表者による全体の評価と見直しの結果

弊社、平成19年3月札幌環境営業所において認証・登録以来、エコアクション21を運用・維持して参りました。昨年、全組織・全活動への拡大の一步として、医療・環境事業部・家電リサイクル引取場所業務を中心に5営業所に拡大致しました。

まだ試行段階にあり、十分な成果は出ていませんが、従業員とともに協力して着実に活動して参ります。以下に、今般見直した主要な内容を記載いたします。

### 1、【環境方針】

組織改編に伴い一部改訂しました。(平成25年4月1日)

### 2、【環境関連法の取りまとめ】

主な環境関連法規等について、見直しを指示しました。

### 3、【環境目標及び環境活動計画】

これまでの活動を見直し、グリーン購入・環境配慮項目に注目して昨年改訂しました。

### 4、【実施体制】

本年4月本社移転に伴い事業部の再編を図り、7支店33営業拠点すべてを対象範囲として取組む体制を支店ごとに組織しました。

### 5、【文書及び記録】

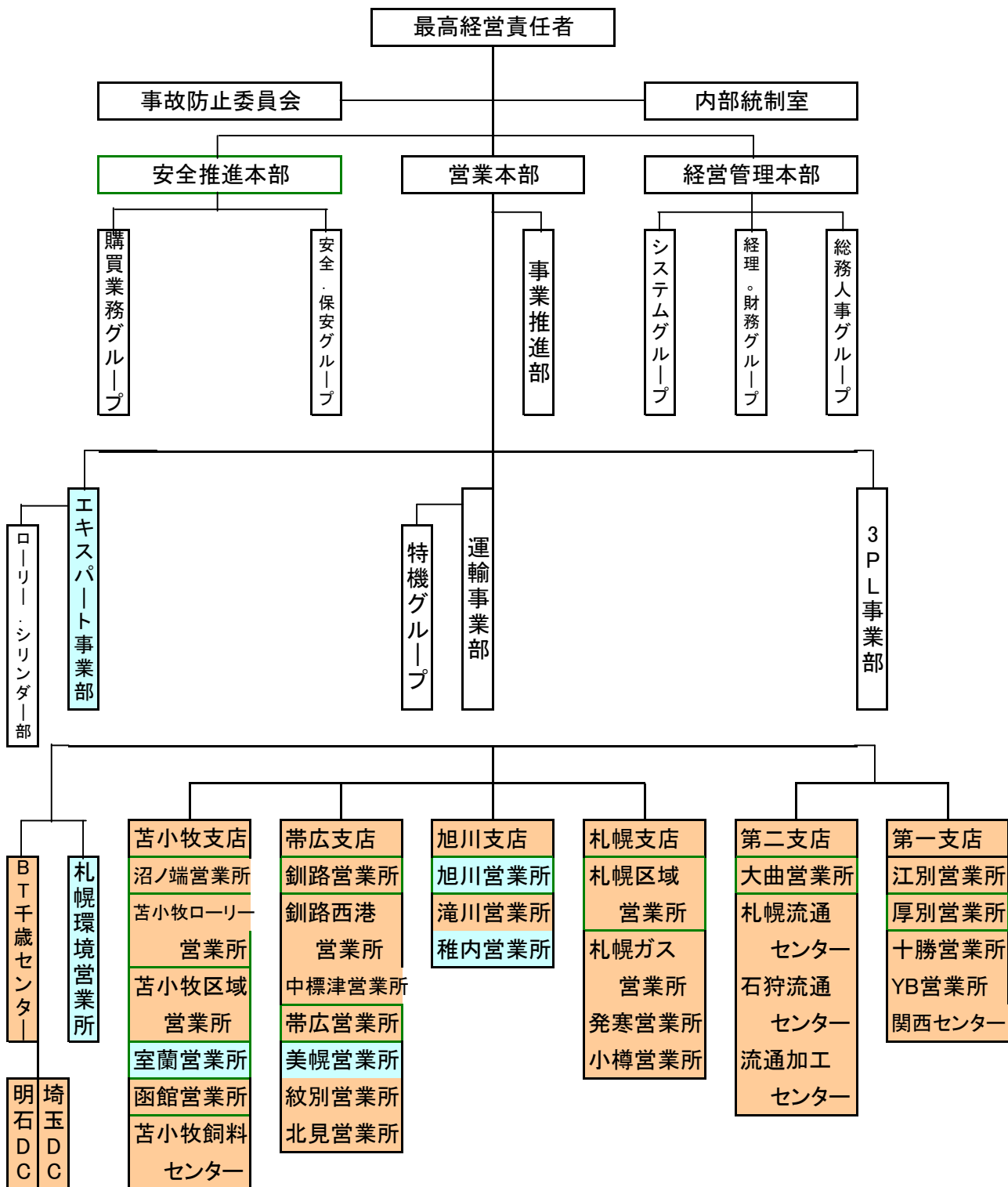
昨年、全組織への拡大を考慮して全面改訂しました。取組活動をする中でさらに検討して参ります。

以上

## ■お問い合わせ

本レポートに関するお問い合わせは、当社の環境管理責任者までご連絡ください。

エア・ウォーター物流株式会社 主要組織図(全組織への拡大プログラム)



- グリーン認証部署
- 認証・登録済み拠点
- H26年3月認証・登録予定拠点
- H27年3月認証登録予定

